

岡本侑也さん(チェロ)応援レポート

Andiamo Part 2

～第1回 World Wideに活躍する演奏家の時代を超えた共演～

2017年7月21日(金)19:00開演

浜離宮朝日ホール

エリザベート王妃国際音楽コンクールチェロ部門2位受賞に関する岡本さんの声もレポートの後半に載せてあります。是非ご一読ください。

◆出演

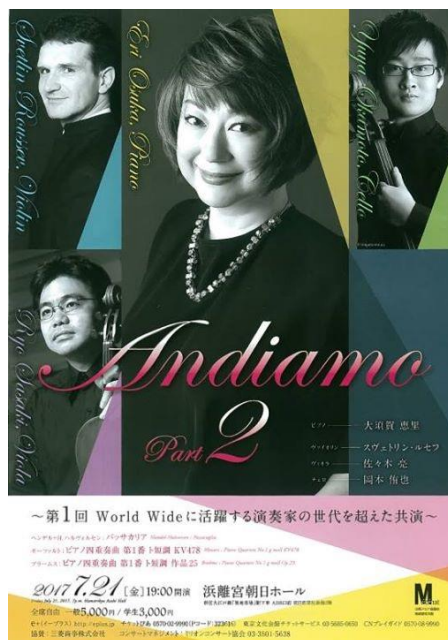
大須賀恵里(ピアノ)
スヴェトリン・ルセフ(ヴァイオリン)
佐々木亮(ヴィオラ)
岡本侑也(チェロ)

◆プログラム

ヘンデル＝H.ハルヴォルセン：パッサカリア
スヴェトリン・ルセフ ヴァイオリン
岡本侑也 チェロ
モーツァルト：ピアノ四重奏曲 第1番ト短調 KV478
ブラームス：ピアノ四重奏曲 第1番ト短調 作品25

◆アンコール曲

ブラームス：ピアノ四重奏曲 第3番より 第3楽章



(当日のフライヤーより)

「Andiamo」はピアニストの大須賀恵理氏が主宰する演奏会シリーズ。

演奏終了後、大須賀氏から「Part 2では、これから未来を担う若者を中心に、国籍、年齢、キャリアを超えた、音楽という世界共通の言葉で室内楽の輪をはぐくみたい」というお話がありました。

ヴァイオリンのスヴェトリン・ルセフ氏はパリ国立高等音楽院の教授、ヴィオラの佐々木亮氏は2008年よりNHK交響楽団首席奏者であり、現在、桐朋学園で後進の指導にも当たっているとのこと。確かに、国籍、年齢、キャリアを超えている。

そして大須賀氏より、岡本さんが「エリザベート王妃国際音楽コンクール」の記念すべき第一回チェロ部門で、見事2位に輝きました！とのご紹介があり、岡本さんは万雷の温かい拍手を浴びていました。

この日の演奏会で耳にした岡本さんのチェロの音色は、これがチェロの音？と驚くような、これまで聞いたことが無いような美しい、澄んだ、宝石のような音色でした。もっと、もっと岡本さんのチェロの美しい音色を聴きたい、と思った演奏会でした。

今回のプログラムを見た時、また演奏をお聞きした時、そして「エリザベート王妃国際音楽コンクール」2位に輝かれた後、岡本さんにお聞きしたい質問が次々と浮かんできました。岡本さんの回答を見ると、岡本さんの真摯な、純粋な、謙虚な人柄が手に取るようにわかります。コンクールの事もお聞きました。是非、お読みください。

Q1. 今日のプログラムはヘンデル、モーツァルト、ブラームスと時代も曲想も変化に富んだ作曲家達だと思いますが、今日のプログラムにこの作曲家達を選ばれたのにはどんなお考えがあったのでしょうか？

A1. 今回プログラミングをされたのは大須賀恵里先生でしたので、先生に伺いました。

「この度のAndiamo Part2 の内容軸としている国境・年齢・キャリアを超えた、音楽という世界共通の言葉で室内楽の輪をはぐくみたいという主旨に基づき、ヴァイオリンのルセフ氏とチェロの岡本氏の組み合わせで演奏会をスタートしたかった。」

「モーツァルト、ブラームスに関しても、作曲家の顔ぶれというよりも、演奏家の魅力を活かすことができるような内容としたい、という想いを中心としたプログラムにした」とのことです。

スヴェトリン・ルセフ | ヴァイオリン
Svetlin Roussev | Violin

佐々木 亮 | ヴィオラ
Ryo Sasaki | Viola



岡本侑也 | ユウヤ
Yuya Okumata | Gelle

[illegible]

東京藝術大学、ジュニアード音楽院
生、藝大大学院、安宅賞受賞、森
オークワード奨励賞、1991年日本現代
文協会室内音楽コンクール第1位、「新
規賞」受賞、1992年東京国際音
コンクール室内部門第2位、「フ
ランザ賞」受賞、2004年NHK交響
団員として、2008年より首席奏者、フ
グス・東京西奏曲団、室内オーケストラ
「アリス」、東京クラシス・アンサンブル、国
立東京交響楽団メンバー、CD
EMI/Angelよりチャイコフスキー
六重奏、ブラームス弦楽六重奏をリ
リース、また2016年9月にはRCA/Sony、
バーバード・ベルグ（指揮）NHK交響楽
団、チャイコフスキー「モントゥー
ヴェル」の演奏、エリック・サティの共演
「シュジャール・ド・サン・ネクター」を
リリースされた。現在、演奏活動の傍ら
早稲田大学にて後進の指導にもあた
っている。

[illegible]

(当日のフライヤーより)

Q2. 弦楽器には、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスとありますが、その中でもチェロの魅力は何ですか？

A2. 他のチェリストの方もよくおっしゃいますが、チェロの音が人間の声に近い、ということが大変魅力的だと思います。また、深い広がりのある低音から、艶やかな高音まで音域が広く、大変豊かな音色の可能性を持っております。

Q3. 無伴奏、チェロソナタ、協奏曲、弦楽合奏など、いろいろな演奏形式がありますが、どの演奏形式がお好きですか？

A3. 無伴奏の曲は自分だけの世界観を發展させることができますし、ピアノとのソナタ、コンチェルト等はそれぞれのアンサンブルの魅力がありますので、どの演奏形式も好きです。

Profile



大須賀恵里 | ピアノ
Eri Osuka | Piano

[illegible]

大学音楽学部長松本頼弘氏委員を務め、同年夏より山崎誠治(Vn)、山岸将子(Vn)と共に「科学技術文化音楽祭」(2016年2月24日・25日・26日)の主催を行い、6月元日(サンフランシスコ)にてマスター・デュエル・ゲージ(Vn)とモザット・ソナタCDをオクダフ・レコードより、9月30日までの期間限定CD「赤い糸」をオリジナル「Ten」(Ten)とソナタのCDリリース。

2013年6月に新曲「Andiamo」を収録し世界ピアノ大衆音楽祭全3回シリーズを開催2015年4月に完成、いずれも音楽専門誌にて最大級の掲載を受け共に大々的な反響を呼び、2016年6月19日演奏、その後利用者に至るまで若手音楽家支援や音の輪としてAndiamo Part 2 毎週末演奏会を音の輪にスタート、2017年1月2日・2月11日・2月17日・2月23日・3月1日・3月5日・3月11日・3月18日・3月25日・4月1日・4月8日・4月15日・4月22日・4月29日・5月6日・5月13日・5月20日・5月27日・6月3日・6月10日・6月17日・6月24日・7月1日・7月8日・7月15日・7月22日・7月29日・8月5日・8月12日・8月19日・8月26日・9月2日・9月9日・9月16日・9月23日・9月30日・10月7日・10月14日・10月21日・10月28日・11月4日・11月11日・11月18日・11月25日・12月2日・12月9日・12月16日・12月23日・12月30日・2018年1月6日・1月13日・1月20日・1月27日・2月3日・2月10日・2月17日・2月24日・3月2日・3月9日・3月16日・3月23日・3月30日・4月6日・4月13日・4月20日・4月27日・5月4日・5月11日・5月18日・5月25日・6月1日・6月8日・6月15日・6月22日・6月29日・7月6日・7月13日・7月20日・7月27日・8月3日・8月10日・8月17日・8月24日・8月31日・9月7日・9月14日・9月21日・9月28日・10月5日・10月12日・10月19日・10月26日・11月2日・11月9日・11月16日・11月23日・11月30日・12月7日・12月14日・12月21日・12月28日・2019年1月4日・1月11日・1月18日・1月25日・2月1日・2月8日・2月15日・2月22日・2月29日・3月6日・3月13日・3月20日・3月27日・4月3日・4月10日・4月17日・4月24日・4月30日・5月7日・5月14日・5月21日・5月28日・6月4日・6月11日・6月18日・6月25日・7月2日・7月9日・7月16日・7月23日・7月30日・8月6日・8月13日・8月20日・8月27日・9月3日・9月10日・9月17日・9月24日・9月30日・10月7日・10月14日・10月21日・10月28日・11月4日・11月11日・11月18日・11月25日・12月2日・12月9日・12月16日・12月23日・12月30日・2020年1月6日・1月13日・1月20日・1月27日・2月3日・2月10日・2月17日・2月24日・3月2日・3月9日・3月16日・3月23日・3月30日・4月6日・4月13日・4月20日・4月27日・5月4日・5月11日・5月18日・5月25日・6月1日・6月8日・6月15日・6月22日・6月29日・7月6日・7月13日・7月20日・7月27日・8月3日・8月10日・8月17日・8月24日・8月31日・9月7日・9月14日・9月21日・9月28日・10月5日・10月12日・10月19日・10月26日・11月2日・11月9日・11月16日・11月23日・11月30日・12月7日・12月14日・12月21日・12月28日・2021年1月4日・1月11日・1月18日・1月25日・2月1日・2月8日・2月15日・2月22日・2月29日・3月6日・3月13日・3月20日・3月27日・4月3日・4月10日・4月17日・4月24日・4月30日・5月7日・5月14日・5月21日・5月28日・6月4日・6月11日・6月18日・6月25日・7月2日・7月9日・7月16日・7月23日・7月30日・8月6日・8月13日・8月20日・8月27日・9月3日・9月10日・9月17日・9月24日・9月30日・10月7日・10月14日・10月21日・10月28日・11月4日・11月11日・11月18日・11月25日・12月2日・12月9日・12月16日・12月23日・12月30日・2022年1月6日・1月13日・1月20日・1月27日・2月3日・2月10日・2月17日・2月24日・3月2日・3月9日・3月16日・3月23日・3月30日・4月6日・4月13日・4月20日・4月27日・5月4日・5月11日・5月18日・5月25日・6月1日・6月8日・6月15日・6月22日・6月29日・7月6日・7月13日・7月20日・7月27日・8月3日・8月10日・8月17日・8月24日・8月31日・9月7日・9月14日・9月21日・9月28日・10月5日・10月12日・10月19日・10月26日・11月2日・11月9日・11月16日・11月23日・11月30日・12月7日・12月14日・12月21日・12月28日・2023年1月4日・1月11日・1月18日・1月25日・2月1日・2月8日・2月15日・2月22日・2月29日・3月6日・3月13日・3月20日・3月27日・4月3日・4月10日・4月17日・4月24日・4月30日・5月7日・5月14日・5月21日・5月28日・6月4日・6月11日・6月18日・6月25日・7月2日・7月9日・7月16日・7月23日・7月30日・8月6日・8月13日・8月20日・8月27日・9月3日・9月10日・9月17日・9月24日・9月30日・10月7日・10月14日・10月21日・10月28日・11月4日・11月11日・11月18日・11月25日・12月2日・12月9日・12月16日・12月23日・12月30日・2024年1月6日・1月13日・1月20日・1月27日・2月3日・2月10日・2月17日・2月24日・3月2日・3月9日・3月16日・3月23日・3月30日・4月6日・4月13日・4月20日・4月27日・5月4日・5月11日・5月18日・5月25日・6月1日・6月8日・6月15日・6月22日・6月29日・7月6日・7月13日・7月20日・7月27日・8月3日・8月10日・8月17日・8月24日・8月31日・9月7日・9月14日・9月21日・9月28日・10月5日・10月12日・10月19日・10月26日・11月2日・11月9日・11月16日・11月23日・11月30日・12月7日・12月14日・12月21日・12月28日・2025年1月4日・1月11日・1月18日・1月25日・2月1日・2月8日・2月15日・2月22日・2月29日・3月6日・3月13日・3月20日・3月27日・4月3日・4月10日・4月17日・4月24日・4月30日・5月7日・5月14日・5月21日・5月28日・6月4日・6月11日・6月18日・6月25日・7月2日・7月9日・7月16日・7月23日・7月30日・8月6日・8月13日・8月20日・8月27日・9月3日・9月10日・9月17日・9月24日・9月30日・10月7日・10月14日・10月21日・10月28日・11月4日・11月11日・11月18日・11月25日・12月2日・12月9日・12月16日・12月23日・12月30日・2026年1月6日・1月13日・1月20日・1月27日・2月3日・2月10日・2月17日・2月24日・3月2日・3月9日・3月16日・3月23日・3月30日・4月6日・4月13日・4月20日・4月27日・5月4日・5月11日・5月18日・5月25日・6月1日・6月8日・6月15日・6月22日・6月29日・7月6日・7月13日・7月20日・7月27日・8月3日・8月10日・8月17日・8月24日・8月31日・9月7日・9月14日・9月21日・9月28日・10月5日・10月12日・10月19日・10月26日・11月2日・11月9日・11月16日・11月23日・11月30日・12月7日・12月14日・12月21日・12月28日・2027年1月4日・1月11日・1月18日・1月25日・2月1日・2月8日・2月15日・2月22日・2月29日・3月6日・3月13日・3月20日・3月27日・4月3日・4月10日・4月17日・4月24日・4月30日・5月7日・5月14日・5月21日・5月28日・6月4日・6月11日・6月18日・6月25日・7月2日・7月9日・7月16日・7月23日・7月30日・8月6日・8月13日・8月20日・8月27日・9月3日・9月10日・9月17日・9月24日・9月30日・10月7日・10月14日・10月21日・10月28日・11月4日・11月11日・11月18日・11月25日・12月2日・12月9日・12月16日・12月23日・12月30日・2028年1月6日・1月13日・1月20日・1月27日・2月3日・2月10日・2月17日・2月24日・3月2日・3月9日・3月16日・3月23日・3月30日・4月6日・4月13日・4月20日・4月27日・5月4日・5月11日・5月18日・5月25日・6月1日・6月8日・6月15日・6月22日・6月29日・7月6日・7月13日・7月20日・7月27日・8月3日・8月10日・8月17日・8月24日・8月31日・9月7日・9月14日・9月21日・9月28日・10月5日・10月12日・10月19日・10月26日・11月2日・11月9日・11月16日・11月23日・11月30日・12月7日・12月14日・12月21日・12月28日・2029年1月4日・1月11日・1月18日・1月25日・2月1日・2月8日・2月15日・2月22日・2月29日・3月6日・3月13日・

オフィシャルサイト <http://eriosaka.sakura.ne.jp/>

(当日のフライヤーより)

Q4. どの時代、どの国の作曲家がお好きですか？

A4. 昔は特にバッハ、そして現代曲が好きでしたが、最近は時代・国籍を超えて、いつもその時に取り組んでいる曲に対して愛着が湧きます。



Q5. 最後に、どのような演奏家を目指していらっしゃいますか？

A5. 作曲家からのメッセージをストレートに伝えることができるように、作曲家に寄り添い、それぞれの曲にとって1番自然な表現方法を追求していきたいです。そして、作曲家とお客さんをつなげる演奏者としての使命を果たして行きたいです。



以下は、エリザベート王妃国際音楽コンクール 2位受賞に関するコメントです！ 必読♪

Q6. 2017年エリザベート王妃国際音楽コンクールチェロ部門で2位に輝かれました。2月のビデオ選考から6月3日のファイナル、そして6月15日のクロージングコンサート。また6月14、16、17、18日と連日のコンサート。

怒涛の5月、6月だったのではないのでしょうか。音楽的才能はもちろんですが、集中力、体力も大きな要素かと思いますが、いかがでしたか？

A6. コンクールでは一つの予選が1週間かけて行われていましたので、現地入りしてからもうじっくり時間をかけて、プログラムに取り組むことができました。

反対にコンクール後の受賞者演奏会は、短期間に沢山の本番があり、コンクールで弾いた曲とは何一つ被らないプログラムを弾きましたので、限られた時間で一気に準備するという、とても対照的な体験をしました。

コンクールとは全く別のプログラムを演奏することは予想していなかったもので、手元に楽譜が無く、スリリングな体験となり少々大変でしたが、連日の演奏会で自分のメンタル・コンディションをどのように保っていくのか、とても勉強になりました。

受賞者演奏会のツアーでは、ブリュッセル以外の都市でも沢山のお客様が喜んでくださり、かけがえのない体験をしました。舞台上だけでなく、演奏後のサイン会などでもお客様との交流があり、とても印象的なツアーになりました。



Q7. 最も楽しかった事、苦しかった事、嬉しかったことは何でしょうか？

A7. コンクールの予選の時点から楽しかったこと、嬉しかったことが沢山ありましたので、苦しかったことは全て吹き飛んでしまいました。

特にセミファイナルのハイドンD-durのコンチェルトは、(もちろん反省点はありますが)今思い出すだけでも心が踊るような、幸せなステージとなりました。オーケストラの皆さん、そしてお客様との、言葉では言い表せないような一体感がありました。



2位という結果はもちろん嬉しいのですが、それ以上に、この結果に対して今までお世話になった先生方や、関係者の皆様、友人など沢山の方が喜んでくださったことが1番嬉しかったです。今まで多くの方が応援してくださっていたことを改めて感じ、鳥肌が立ちました。

江副記念財団の皆様がご支援くださいましたお陰で、ここまで辿り着くことができました。本当にありがとうございました！



Q8. 今回の受賞で得たものは何でしょうか。何か自分に変化が起こっていますか？今後、どのように活かしていこうと思っていっぱいますか？

今のところ自分自身には大きな変化はありません。今まで通り、日々精進するのみです。改めてお客様と密に音楽を楽しむ大切さを実感し、これからもそれ続けていきたいと思いました。



(写真はエリザベート王妃国際音楽コンクールのHP、またはUtubeより)

♪エリザベート王妃国際音楽コンクール♪

華やかなコンクール。でも非常に過酷なコンクールだとも思う。 コンクールの詳細を探ってみた。

2017年スケジュール

1月11日 応募締切

応募者のビデオを審査し、202名の応募者の中から70名が選ばれた。
このビデオだけでも4つの楽曲が課されている。

3月15日 予選通過者発表 70名のうち2名が辞退し、68名が現地入り。
この中には、現財団奨学生の**水野優也さん**の名前も。

5月4日 予選通過者現地入り

5月5日 順番決め抽選

5月8～13日 第一次予選 岡本さんは5月10日20:00から、水野さんは5月11日15:00から、聴衆を前にして
20分間、課題曲の中から3曲を演奏した。

5月15日～20日 セミファイナル

68名から選ばれた24名がセミファイナルへ。岡本さんの名前があった。
各演奏者は、ソロと協奏曲を2日に分けて演奏した。
岡本さんは5月15日にリサイタル、5月18日に協奏曲を演奏。
5月20日の最後の演奏後、12名のファイナリストが発表された。
その中に岡本さんの名前も。



ファイナルの前に12名のファイナリストは、クイーン・エリザベス・ミュージック・チャペルに移動し、
携帯も預け、外部との接触を遮断された環境で、自分で選んだチェロ協奏曲と1週間前に渡された
ばかりの世界初演となる細川俊夫氏作曲の Sublimation の準備をした。

5月29日～6月3日 ファイナル

岡本さんは6月1日21:15から、細川俊夫氏の Sublimation と
ドボルザークのチェロ協奏曲口短調作品104 (B.191) を演奏した。

6月6日 受賞者発表、表彰式

1位	Victor Julien-Laferrrière
2位	Yuya Okamoto
3位	Santiago Cañón-Valencia



6月8日 1位のVictor さんとのデュオ・リサイタル @ブリュッセル

6月15日 1, 2, 3位の受賞者によるクロージング・コンサート @ブリュッセル

6月14日@ゲント、16日@ブルージュ、17日@アントワープ、18日@ハッセルト と連日のコンサート。

6月20日 6位のBrannon さんとのデュオ・リサイタル @ブリュッセル

怒涛のような5月、6月。

最高の音楽を追求することはもちろん、集中力を維持すること、本番で最高の演奏ができるよう
体調を整えること、プレッシャーとの戦い。それもコンクールにおいて大きな要素になると思う。
岡本さんはこの2ヵ月で7キロも体重が落ちたそうだ。

Q&A では受賞後何も変わったことはない、という岡本さん。これだけの経験をして、そんなはず
はない。この2ヵ月の貴重な経験は、ご本人も気付かないところで、岡本さん自身と岡本さんの
音楽を、一回りも二回りも大きくしたはずである。

確実に、着実に、階段を一步、一步上がっている岡本さんを応援し、これからもその姿を追いか
けたい。